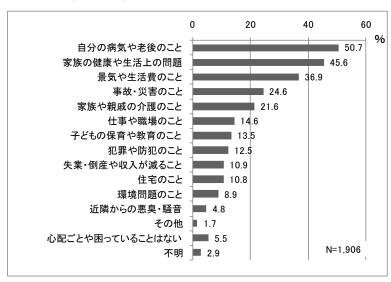
問8 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。上位3つを選んでください。

・第1位~第3位の回答の全体の結果では、「自分の病気や老後のこと」が50.7%で最も多く、以下「家族の健康や生活上の問題」(45.6%)、「景気や生活費のこと」(36.9%)が困りごとの上位3項目である。





・順位別の結果は、次表のとおりである。

表 ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること(順位別)

第1	位		第2	位		第3	位	
No.	カテゴリー名	%	No.	カテゴリー名	%	No.	カテゴリー名	%
1	自分の病気や老後のこと	30.3	1	家族の健康や生活上の問題	23.4	1	景気や生活費のこと	13. 1
2	家族の健康や生活上の問題	14.7	2	景気や生活費のこと	14.2	2	事故・災害のこと	12.5
3	景気や生活費のこと	11.1	3	自分の病気や老後のこと	12.5	3	家族の健康や生活上の問題	9.3
4	家族や親戚の介護のこと	7.5	4	家族や親戚の介護のこと	8.7	4	自分の病気や老後のこと	9. 2
5	仕事や職場のこと	5.8	5	事故・災害のこと	7.6	5	犯罪や防犯のこと	7.4
6	事故・災害のこと	5.6	6	子どもの保育や教育のこと	6.0	6	住宅のこと	6.3
7	子どもの保育や教育のこと	4.2	7	仕事や職場のこと	4.6	7	家族や親戚の介護のこと	6. 2
8	失業・倒産や収入が減ること	4.1	8	失業・倒産や収入が減ること	4.4	8	仕事や職場のこと	4.8
9	住宅のこと	2.2	9	犯罪や防犯のこと	4.0	9	環境問題のこと	4. 2
10	環境問題のこと	1.9	10	環境問題のこと	3.2	10	子どもの保育や教育のこと	3.8
11	犯罪や防犯のこと	1.7	11	住宅のこと	2.8	11	失業・倒産や収入が減ること	2.8
12	近隣からの悪臭・騒音	1.6	12	近隣からの悪臭・騒音	1.4	12	近隣からの悪臭・騒音	2.0
13	その他	0.9	13	その他	0.4	13	その他	0.4
14	心配ごとや困っていることはない	5. 5	14	心配ごとや困っていることはない	0.0	14	心配ごとや困っていることはない	0.0
	不明	2.9		不明	6.8		不明	18.0
	全体(N=1906)	100.0		全体(N=1801)	100.0		全体(N=1801)	100.0

年齢別 ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること(総合)

- ・20歳代、30歳代では「景気や生活費のこと」、40歳代では「家族の健康や生活上の 問題」、50歳代より上の世代では「自分の病気や老後のこと」が最も多くなってい る。また、20歳代で「仕事や職場のこと」、子育ての中心世代である30歳代と40 歳代では「子どもの保育や教育のこと」、親世代が高齢化してくる 50 歳代では「家 族や親戚の介護のこと」の数値が他世代に比べて高く、自分に直接関わりのある項 目では数値が高くなっている。
- ・ひとり暮らしの高齢者では、「自分の病気や老後のこと」が最も多く、非常に高い数 値となっている。また、「事故、災害のこと」の数値が高い傾向にあるほか、60歳 ~74歳では「景気や生活費のこと」の数値も高い。

表 年齢別 ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること

		問8 生	生活のこ	ことで心	小配ごと	:や困ぐ	ている	こと								
																(%)
	合計	こ自	の家	減失	仕	景	の子	こ家	音近	環	事	犯	住	そ	る心	不
		と分	問族	る業	事	気	こど	と族	隣	境	故	罪や	宅の	の他	こ配	明
		の病	題の健	こ・ と倒	や職	や生	ともの	や親	から	問題	災	防	÷	104	とごはと	
			康	産	場	活		戚	の	(D)	害	犯	ح		なや	
		気や	P	産や	Ø	費	保育	の	悪	Ξ	の	の	_		い困	
		老後	生活	収	Č.	の	P	介	臭	ک	ζ.	J.J.			2	
	(件)	後の	冶	入が	٤	ت ح	教 育	護の	騒		۲	と			てい	
		- ' '														
全体	1906		45.6	10.9	14.6	36.9	13. 5		4.8	8. 9	24.6				5.5	2. 9
F2 年齢 20歳代	145	15.9	40.0	13. 1	43.4	47.6	11.7	17. 2	4.1	9. 7	26. 9	16.6	6. 9	2. 8	7.6	1.4
30歳代	243	19.3	41.2	15.6	24.3	45.3	39. 5	15. 2	6.6	9. 1	24. 7	9.1	12.8	2. 5	5.3	0.8
40歳代	294	30.3	42.2	16.0	21. 1	37.4	38. 4	23. 5	6.8	5.8	19.4	12.9	13. 3	1.4	5. 1	0.7
50歳代	308	55.2	42.5	13.6	15.3	39.0	7. 5	33.8	3.6	5. 2	24.7	7.5	10.1	1.9	3.9	3. 2
60歳~74歳	592	70.4	52.7	8.6	6.4	33.6	0.5	22.0	4.2	11. 1	24.5	12.7	10.8	1.4	5.6	2. 9
75歳以上	266	73.7	48.9	2.6	2.6	26.3	0.8	13.5	4.1	10.2	27.8	16.9	9.0	1. 9	5.6	6.8
不明	58	43.1	25.9	6.9	5. 2	43.1	6.9	19.0	5.2	12.1	31.0	19.0	12. 1	0.0	10.3	6.9
	•		,	,				,	,				,		•	
F2高年層×F4 60歳~74歳-ひとり暮らし	55	83.6	29. 1	5. 5	14.5	49.1	0.0	7.3	5.5	9. 1	34. 5	14.5	18. 2	1.8	1.8	0.0
ひとり暮らし 75歳以上-ひとり暮らし	46	87.0	30.4	2. 2	0.0	26.1	0.0	4.3	6.5	6.5	34.8	15.2	17.4	0.0	6.5	6.5

■ 家族形態別 ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること(総合)

・ひとり暮らし、夫婦のみ、その他では「自分の病気や老後のこと」、親と子(二世代)、 祖父母と親と子(三世代)では「家族の健康や生活上の問題」が最も多い。また、 祖父母と親と子(三世代)では「家族や親戚の介護のこと」の数値が高くなってい る。

表 家族形態別 ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること

		問8 生	上活のこ	ことで心	小配ごと	や困っ	ている	こと								
	A 71			N N //								- Jan	- 1)			(%)
	合計	こ自と分	の家 問族	減失る業	仕 事	景気	の子 こど	こ家と族	音近隣	環境	事故	犯罪	住宅	その	る心こ配	不明
		<u>こ</u> の	題の	る未	キャ	XI P	とも	こ灰や	カュ	問	•	やや	の	他	とご	19/1
		病	健	と倒	職	生	の	親	6	題	災	防	IJ		はと	
		気	康	産	場	活	保	戚	の	0	害	犯	٢		なや	
		や 老	や生	や収	<i>の</i>	費の	育や	の介	悪臭	٤	0	0			い困っ	
		後	活	入	٤	2	教	護	•	J	ک	ک			て	
	(件)	Ø	Ë	が	_	ک	育	Ø	騒		Ü				1.1	
全体	1906	50.7	45.6	10.9	14.6	36.9	13. 5	21.6	4.8	8.9	24.6	12.5	10.8	1. 7	5.5	2. 9
F4 家族形態 ひとり暮らし	164	70.1	32.3	12. 2	20.1	42.1	0.0	9.8	6.7	7. 3	29.9	10.4	16. 5	0.6	4.3	1.8
夫婦のみ	498	60.8	49.4	7. 2	9.4	30.1	3. 2	20.9	5.0	12.4	27.5	15.5	11.2	1.6	5.4	3.8
親と子 (二世代)	1033	44.0	46. 1	12. 9	16.6	38.6	20.4	21.7	4.4	7. 3	23. 1	11.0	10.3	2. 1	6.0	2. 2
祖父母と親と子 (三世代)	111	36. 9	48.6	9. 9	13.5	35. 1	18.0	44. 1	6.3	5. 4	17.1	15.3	5. 4	1.8	3.6	5.4
その他	21	71.4	66.7	4.8	23.8	57. 1	9. 5	33. 3	0.0	14. 3	4.8			0.0	0.0	0.0
不明	79	48.1	34.2	8.9	10.1	43.0	11.4	15.2	5.1	13. 9	30.4	15.2	11.4	0.0	6.3	5. 1

問9 あなたが日常生活を送っているなかで、行政に特に力を入れてほしいと思う施策は 何ですか。上位3つを選んでください。

- ・第1位~第3位の回答の全体の結果では、割合が多い順に「防災・災害対策」(52.8%)、「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」(50.4%)、「防犯対策」(33.1%)である。
- ・平成21年度調査では第3位であった「防災・災害対策」が、今年度調査では第1位となっている。

図 行政に特に力を入れてほしいと思う施策 (総合)

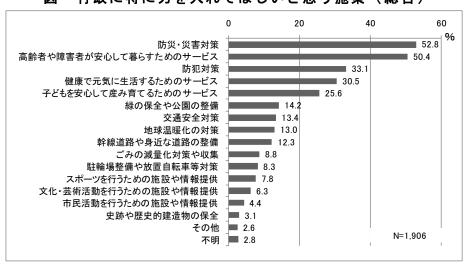
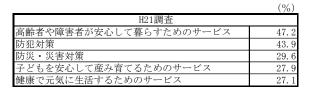


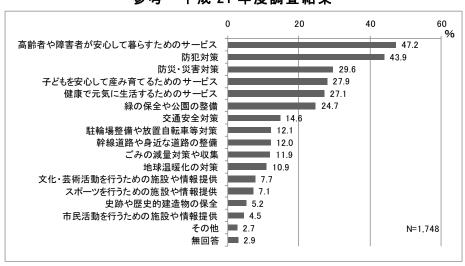
表 平成 21 年度調査との比較

(0/)

	(/0 /
今回調査	
防災・災害対策	52. 8
高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス	50.4
防犯対策	33. 1
健康で元気に生活するためのサービス	30. 5
子どもを安心して産み育てるためのサービス	25. 6
子どもを安心して産み育てるためのサービス	25



参考 平成 21 年度調査結果



・順位別の結果は、次表のとおりである。

表 行政に特に力を入れてほしいと思う施策(順位別)

第1	位		第2	位		第3	位	
No.	カテゴリー名	%	No.	カテゴリー名	%	No.	カテゴリー名	%
1	防災・災害対策	28. 9	1	高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス	18. 2	1	健康で元気に生活するためのサービス	13.8
2	高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス	21.0	2	防犯対策	15.0	2	高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス	11.1
3	子どもを安心して産み育てるためのサービス	11.0	3	防災・災害対策	14.3	3	防災・災害対策	9.6
4	防犯対策	10.3	4	健康で元気に生活するためのサービス	10.8	4	地球温暖化の対策	8.3
5	健康で元気に生活するためのサービス	6.0	5	子どもを安心して産み育てるためのサービス	8.3	5	防犯対策	7.8
6	幹線道路や身近な道路の整備	4.3	6	緑の保全や公園の整備	5.3	6	緑の保全や公園の整備	6.4
7	交通安全対策	3.0	7	交通安全対策	4.9	7	子どもを安心して産み育てるためのサービス	6.3
8	緑の保全や公園の整備	2.5	8	幹線道路や身近な道路の整備	4.0	8	交通安全対策	5. 5
9	駐輪場整備や放置自転車等対策	2.3	9	ごみの減量化対策や収集	2.9	9	ごみの減量化対策や収集	4.8
10	地球温暖化の対策	1.9	10	駐輪場整備や放置自転車等対策	2.8	10	幹線道路や身近な道路の整備	4.0
11	ごみの減量化対策や収集	1.1	11	地球温暖化の対策	2.8	11	スポーツを行うための施設や情報提供	4.0
12	スポーツを行うための施設や情報提供	1.0	12	スポーツを行うための施設や情報提供	2.7	12	文化・芸術活動を行うための施設や情報提供	4.0
13	文化・芸術活動を行うための施設や情報提供	0.9	13	市民活動を行うための施設や情報提供	1.5	13	駐輪場整備や放置自転車等対策	3.3
14	史跡や歴史的建造物の保全	0.8	14	文化・芸術活動を行うための施設や情報提供	1.4	14	市民活動を行うための施設や情報提供	2.6
15	市民活動を行うための施設や情報提供	0.4	15	史跡や歴史的建造物の保全	0.7	15	史跡や歴史的建造物の保全	1.6
16	その他	1.7	16	その他	0.4	16	その他	0.5
	不明	2. 9		不明	4.0		不明	6.4
	全体	100.0		全体	100.0		全体	100.0

■ 年齢別 行政に特に力を入れてほしいと思う施策 (総合)

- ・20歳代と40歳代、50歳代で「防災・災害対策」、30歳代では「子どもを安心して 産み育てるためのサービス」、60歳代以上の世代では「高齢者や障害者が安心して 暮らすためのサービス」が最も多くなっている。また、20歳代でも「子どもを安心 して産み育てるためのサービス」の数値が他世代に比べて高いほか、40歳代では「防 犯対策」の数値が高くなっている。
- ・ひとり暮らしの高齢者では、「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」が 最も多く、数値も高くなっている。

表 年齢別 行政に特に力を入れてほしいと思う施策 (総合)

			問9 日	常生活を	と送るな	かで、1	亍政に力	を入れて	てほしい	施策									(%)
		合計 (件)	防災・災害対策	防犯対策	交通安全対策	路の整備幹線道路や身近な道	転車等対策駐輪場整備や放置自	備の保全や公園の整	の保全史跡や歴史的建造物		ビスみ育てるためのサー子どもを安心して産	るためのサービス 健康で元気に生活す	の施設や情報提供市民活動を行うため		提供 うための施設や情報 文化・芸術活動を行	収集ごみの減量化対策や	地球温暖化の対策	その他	不明
	全体	1906	52.8	33. 1	13.4	12. 3	8.3	14. 2	3. 1	50.4	25. 6	30.5	4. 4	7.8	6.3	8.8	13.0	2. 6	2.8
F2 年齢	20歳代	145	53.8	33.8	13.8	18.6	17.2	15. 2	4. 1	23.4	37. 9	22.1	5. 5	15. 9	7.6	9.0	10.3	4. 1	1.4
	30歳代	243	51.9	34. 2	20.2	15.6	10.7	17.7	1.2	24. 7	59. 3	19.3	2. 9	10.3	4. 9	5.8	10.3	6. 2	0.4
	40歳代	294	55.8	47.6	20.1	13. 9	8.8	14.3	3. 7	34.7	28. 2	22.1	4.8	11.2	3. 1	8. 2	11.2	4.8	0.7
	50歳代	308	60.1	28. 2	10.1	13. 3	6.2	13.3	1.0	55. 2	27.3	35.7	2.6	6.8	6.8	9.7	11.0	1.3	2.9
	60歳~74歳	592	51.2	26. 4	9.5	10.6	7.3	13.0	3. 9	65. 9	15. 2	39.5	5.4	5. 6	8.4	8. 1	16.6	1.4	2.4
	75歳以上	266	46.6	36. 5	12.0	7. 9	6.0	14.7	4. 1	65.0	7. 5	28. 2	4. 5	2.6	5.6	10.9	12.8	0.8	8.6
	不明	58	46.6	32.8	13.8	5. 2	6.9	12. 1	5. 2	53.4	19.0	32.8	5. 2	12. 1	5. 2	17. 2	15. 5	1.7	3.4
F2高年層×F4 ひとり暮らし	60歳~74歳-ひとり暮らし 75歳以上-ひとり暮らし	55 46	50. 9 54. 3	20. 0 28. 3	16. 4 10. 9	9. 1 10. 9	3. 6 2. 2	3. 6 19. 6	1. 8 0. 0	74. 5 78. 3	5. 5 0. 0	49. 1 28. 3	5. 5 4. 3	7. 3 2. 2	9. 1 2. 2	3. 6 4. 3	18. 2 6. 5	1.8 0.0	1.8 10.9

■ 家族形態別 行政に特に力を入れてほしいと思う施策 (総合)

・親と子(二世代)のみ「防災・災害対策」、それ以外では「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」が最も多く、特にひとり暮らし、その他では高い数値となっている。

表 家族形態別 行政に特に力を入れてほしいと思う施策

		問9 日	常生活を	と送るな	:かで、1	宁政に力	を入れて	てほしい	施策									(%)
	合計	防	防	交通	路幹	転駐	備緑	の史	サ心高		る健	の市		提う文	収ご	地	その	不
		災	対	安	の線整道	車輪等場	の保	保跡 全や	ビて者	ス育ど	た康めで	施民設活	設丨	供た化め・	集みの	球温	他	明
		災害	策	全対	備路や	対整 策備	全や	史	ス暮や ら障	るを た安	の元 サ気	や動 情を	やツ 情を	の芸 施術	減量	暖 化		
		対策		策	身 近	や放	公園	的建	す害 た者	め心 のし	ーに ビ生	報行 提う	報行 提う	設活 や動	化対	の 対		
	(件)	,,,			な道	置自	の整	造物	めが の安	サて	ス活す	供ため	供ため	情を 報行	策や	対 策		
全体	1906	52. 8	33. 1	13. 4	12. 3	8. 3	14. 2	3. 1	50. 4	25. 6	30. 5	4. 4	7.8	6. 3	8.8	13.0	2. 6	2. 8
F4 家族形態 ひとり暮らし	164	55. 5	28.0	16.5	12. 2	6.7	13.4	1.2	62. 2	9.8	35. 4	3. 7	6.7	4.9	7. 9	12.8	2.4	3. 7
夫婦のみ	498	52.6	31.3	11.0	11.0	6.4	13.5	4.0	56.8	21.9	33.7	5.6	7.2	8.2	8.0	12.7	1.4	3.6
親と子 (二世代)	1033	53. 1	34.7	14.5	13.3	9.4	14.9	3.0	44.8	29.6	27.8	4.3	7.9	6.0	8.6	13.8	3.6	1.9
祖父母と親と子(三世代	111	48.6	36.0	8.1	13.5	9.9	12.6	2.7	52. 3	31.5	35. 1	1.8	8.1	5. 4	10.8	6.3	0.9	4.5
その他	21	61.9	42.9	4.8	4.8	9. 5	14.3	0.0	66.7	23.8	19.0	0.0	9.5	4.8	9. 5	14.3	0.0	4.8
不明	79	48. 1	27.8	16.5	7.6	7.6	13.9	5. 1	50.6	20.3	32.9	5. 1	11.4	3.8	15. 2	13.9	1.3	3.8

■ 居住地区別 行政に特に力を入れてほしいと思う施策 (総合)

・富岡第一と六浦西では「高齢者や障害者が安心して暮らすためのサービス」、大川では「子どもを安心して産み育てるためのサービス」、それ以外の地区では「防災・災害対策」が最も多くなっている。また、富岡第三、富岡西・能見台では「防犯対策」、金沢では「交通安全対策」の数値が、他地区に比べて高くなっている。

表 居住地区別 行政に特に力を入れてほしいと思う施策 (総合)

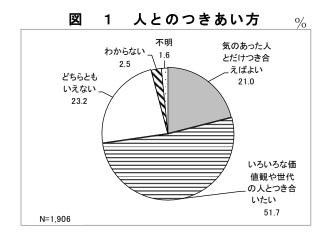
			間9 日	告 上 迁 之	. L.Y. Z. +2	かで、彳	テルケナ	t. 7 h -	C1#1 13	长华									
			[B]9 [帯生値 で	ご送るな	://• € 、1	」以に刀	を八れ	にはしい	'爬束									(%)
		合計 (件)	防災・災害対策	防犯対策	交通安全対策	路の整備幹線道路や身近な道	転車等対策駐輪場整備や放置自	備の保全や公園の整	の保全史跡や歴史的建造物	サービス心して暮らすための高齢者や障害者が安		るためのサービス健康で元気に生活す	の施設や情報提供市民活動を行うため		提供うための施設や情報文化・芸術活動を行	収集ごみの減量化対策や	地球温暖化の対策	その他	不明
	全体	1906	52.8	33. 1	13.4	12. 3	8.3	14. 2	3. 1	50.4	25.6	30.5	4. 4	7.8	6.3	8.8	13.0	2.6	2.8
F7-1 居住地	富岡第一地区	76	39. 5	38. 2	15.8	18. 4	13. 2	13. 2	1.3	50.0	30.3	25.0	3. 9	13.2	3. 9	6.6	13. 2	5. 3	2.6
区	富岡第二地区	63	58.7	31.7	17.5	14. 3	6.3	6.3	1.6	52.4	22. 2	28.6	1.6	7. 9	4.8	9.5	15. 9	0.0	3. 2
	富岡第三地区	91	58. 2	47.3	14. 3	12. 1	2. 2	9. 9	2. 2	56.0	15.4	36. 3	3. 3	4. 4	3. 3	9. 9	13.2	3. 3	2. 2
	富岡西・能見台地区	80	57.5	47.5	10.0	7. 5	7. 5	8.8	0.0	55.0	27. 5	27. 5	1. 3	11.3	7. 5	11. 3	8.8	0.0	3.8
	能見台地区	137	52.6	29. 2	8.0	8.8	4. 4	19.7	3.6	51.1	29. 9	31.4	2. 9	9. 5	8.8	9. 5	13.9	4.4	2. 2
	金沢シーサイドタウン地区	215	57.7	26.0	9.8	4. 2	13.0	11.2	2. 3	52.6	28.4	36. 3	8. 4	7. 9	6.0	7.4	14. 9	2.3	2. 3
	金沢東部地区	119	57.1	42.0	10.1	12.6	6.7	12.6	1.7	52.9	21.8	32.8	4. 2	5.0	5. 9	8. 4	12.6	3.4	1.7
	金沢中部地区	96	55.2	25.0	14.6	13. 5	11.5	11.5	7.3	51.0	25.0	32. 3	4. 2	6.3	4. 2	7.3	13.5	2. 1	1.0
	金沢南部地区	122	54. 1	31.1	12. 3	12. 3	10.7	15.6	5. 7	45. 1	22. 1	28. 7	5. 7	6.6	9.0	12. 3	16.4	0.8	2. 5
	金沢地区	92	57.6	31.5	26. 1	14. 1	8. 7	13.0	4. 3	47.8	27. 2	23. 9	3. 3	2. 2	7.6	12.0	8.7	2. 2	2. 2
	六浦東地区	51	49.0	31.4	15. 7	13. 7	11.8	13. 7	5. 9	45. 1	25. 5	31. 4	3. 9	9.8		9.8	9.8	0.0	3. 9
	六浦地区	123	54.5	34. 1	19. 5	17. 9	9.8	17. 1	4. 9	44.7	25. 2	23. 6	4. 1	8.9	5. 7	8. 9	8.1	4. 1	1.6
	六浦西地区	256	47.3	34.8	14. 5	15. 2	4. 7	16.0	2.0	50.8	22. 3	29. 3	4. 7	9.4	6.6	8. 2	12.1	4.3	5. 1
	釜利谷地区	305	51.8	33.8	12. 1	12.8	7. 9	16. 1	3. 3	50.2	27. 2	31.5	3. 3	6. 9	6.6	8. 9	13.1	2.0	2.6
	大川地区	33	48.5	12. 1	9.1	15. 2	0.0	21.2	0.0	42.4	54. 5	36. 4	0.0	12.1	3.0	3.0	21.2	3.0	3.0
	その他	6	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	100.0	16.7	50.0	33. 3			0.0	0.0	0.0	0.0
	不明	41	43.9	22.0	9.8	12. 2	19.5	17. 1	2.4	46.3	17. 1	26.8	9.8	9.8	7.3	4. 9	22.0	0.0	4.9

問 10 あなたは、最近の社会や人とのつきあい方など、 $1 \sim 10$ のことがらについて、どのようにお考えですか。

- ・比較的意見がまとまっている考え方(50%以上の人が同じ回答をしている項目)は、「人とのつきあい方」「知人が困っているとき」「自分の居場所」「自分自身の評価」の4項目である。
- ・意見が大きく分かれている考え方(いずれの選択肢も50%に達していない項目)は、「経済的に困っている」「住みやすいと思う地域」「信頼感」「社会貢献」の4項目である。
- ・「どちらともいえない」の割合が大きい考え方(「どちらともいえない」がもっとも 多い割合を示している項目)は、「現代の社会」「役所への信頼」の2項目である。

1 人とのつきあい方

・「いろいろな価値観や世代の人とつき合いたいたい」が 51.7%で過半数を占め、最も多くなっている。次いで「どちらともいえない」が 23.2%、「気のあった人とだけつき合えばよい」が 21.0%でほぼ並ぶ。



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「1.人とのつきあい方」

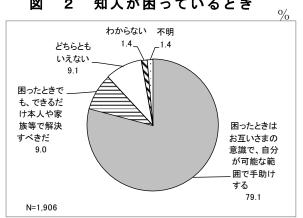
- ・いずれの世代でも「いろいろな価値観や世代の人とつき合いたい」が最も多く、 若年層ほど数値も高い。
- ・いずれの居住形態も「いろいろな価値観や世代の人とつき合いたい」が最も多いが、賃貸一戸建てでは「気のあった人とだけつき合えばよい」の数値が他に比べて高い。

表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方

		/	\C 0 >	- 00 C. 17			
			問10-1 人との	のつきあい方			
							(%)
		合計		いろいろな価		わからない	不明
				値観や世代の 人とつき合い	えない		
		(件)	7.14.5.1	たい			
	全体	1906	21.0	51.7	23. 2	2.5	1.6
F2 年齢	20歳代	145	20.0	64. 8	12. 4	2.8	0.0
	30歳代	243	22.6	53. 1	21.8	1.6	0.8
	40歳代	294	17.7	56. 1	23. 1	2.4	0.7
	50歳代	308	18. 5	47. 7	28. 9	2.3	2.6
	60歳~74歳	592	21.3	51. 2	23. 3	2.5	1.7
	75歳以上	266	25. 9	45. 1	22. 6	3.0	3. 4
	不明	58	20. 7	46. 6	27. 6	3. 4	1.7
F2高年層×F4	60歳~74歳-ひとり暮らし	55	25. 5	36. 4	30. 9	7.3	0.0
	75歳以上-ひとり暮らし	46	23. 9	41.3	28. 3	0.0	6. 5
F3 居住形態	持家一戸建て	914	21.3	50.8	23. 3	2.7	1. 9
	持家共同住宅(分譲マンション等)	563	20. 1	55. 2	21.8	1.4	1.4
	賃貸一戸建て	35	34. 3	45. 7	17. 1	0.0	2. 9
	賃貸共同住宅(賃貸マンション等)	284	20.4	48. 6	26. 4	3. 2	1.4
	社宅・寮等	39	15. 4	61. 5	17. 9	2.6	2.6
	その他	6	33. 3	50.0	16. 7	0.0	0.0
	不明	65	21.5	44. 6	26. 2	6.2	1.5

2 知人が困っているとき

・「困ったときはお互いさまの意識で、自分が可能な範囲で手助けする」が 79.1%で、 全体の8割となっており、圧倒的多数を占める。



义 2 知人が困っているとき

■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「2 知人が困っているとき」

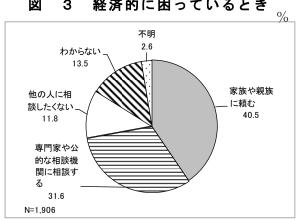
- ・年齢別ではいずれの世代でも「困ったときはお互いさまの意識で、自分が可能な 範囲で手助けする」が最も多く、30歳代を中心に若年層で数値が高い。
- ・居住形態別では、いずれも「困ったときはお互いさまの意識で、自分が可能な範 囲で手助けする」が最も多い。

表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方 「2 知人が困っているとき」

			問10-2 知人	が困っていると	き		
							(%)
		合計		困ったときで		わからない	不明
			お互いさまの	も、できるだ	えない		
		(件)	意識で、自分が可能な範囲	け本人や家族			
		(117)	で手助けする				
	全体	1906	79. 1	9.0	9. 1	1.4	1.4
F2 年齢	20歳代	145	85. 5	6. 9	5. 5	2. 1	0.0
	30歳代	243	86. 4	4.9	7.4	0.8	0.4
	40歳代	294	84. 0	6.8	7.8	1.0	0.3
	50歳代	308	77. 6	7.8	10. 7	1.9	1. 9
	60歳~74歳	592	77. 5	11.0	8.8	1.4	1.4
	75歳以上	266	69. 9	13. 5	11. 3	1.5	3.8
	不明	58	72.4	8.6	15. 5	1.7	1. 7
	60歳~74歳-ひとり暮らし	55	72.7	14. 5	9. 1	3. 6	0.0
ひとり暮らし	75歳以上-ひとり暮らし	46	71. 7	8.7	15. 2	0.0	4. 3
F3 居住形態	持家一戸建て	914	77. 4	10.3	9. 4	1. 3	1. 6
	持家共同住宅(分譲マンション等)	563	82. 4	7.3	7. 6	1. 1	1.6
	賃貸一戸建て	35	80.0	11.4	5. 7	2.9	0.0
	賃貸共同住宅(賃貸マンション等)	284	79. 9	8.1	9. 5	1.8	0. 7
	社宅・寮等	39	82. 1	7.7	5. 1	5. 1	0.0
	その他	6	50.0	16.7	33. 3	0.0	0.0
	不明	65	70.8	9.2	16. 9	1. 5	1. 5

3 経済的に困っているとき

・「家族や親族に頼む」が 40.5%で全体の4割、次いで「専門家や公的な相談機関に 相談する」が31.6%で全体の3割となっている。



义 経済的に困っているとき

■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「3 経済的に困っているとき」

- ・20歳代から40歳代までと75歳以上では「家族や親族に頼む」が最も多く、年齢 が若いほど数値が高い。50歳代、60歳~74歳では「専門家や公的な相談機関に 相談する」が最も多い。
- ・ひとり暮らし高齢者についてみてみると、60歳~74歳では「専門家や公的な相 談機関に相談する」、75歳以上では「家族や親族に頼む」が最も多くなっている。
- ・居住形態別では、賃貸一戸建てのみ「専門家や公的な相談機関に相談する」が最 も多いほか、「他の人に相談したくない」の数値も他に比べて高くなっている。 それ以外では「家族や親族に頼む」が最も多い。

表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方 経済的に困っているとき」 Гз

			問10-3 経済的	内に困っている	とき		
							(%)
		合計	家族や親族に 頼む	専門家や公的 な相談機関に 相談する	他の人に相談 したくない	わからない	不明
		(件)		11 W 7 D			
	全体	1906	40. 5	31.6	11.8	13. 5	2.6
F2 年齢	20歳代	145	62. 1	16. 6	9.0	12. 4	0.0
	30歳代	243	59. 3	22. 2	9. 5	8. 6	0.4
	40歳代	294	49. 7	26. 9	7.5	15. 3	0.7
	50歳代	308	33.8	37.0	11.4	15. 6	2.3
	60歳~74歳	592	29. 4	38. 7	15. 7	13. 3	2.9
	75歳以上	266	35. 0	30. 1	12.8	14. 7	7. 5
	不明	58	34. 5	37. 9	8. 6	13. 8	5. 2
F2高年層×F4	60歳~74歳-ひとり暮らし	55	20.0	47.3	12.7	16. 4	3. 6
	75歳以上-ひとり暮らし	46	30. 4	28.3	10.9	17. 4	13.0
F3 居住形態	持家一戸建て	914	41.0	31. 1	11.9	12.8	3. 2
	持家共同住宅(分譲マンション等)	563	39. 4	32. 9	12. 3	13. 1	2. 3
	賃貸一戸建て	35	28.6	34. 3	22. 9	14. 3	0.0
	賃貸共同住宅(賃貸マンション等)	284	41.9	31. 3	8.8	15. 8	2. 1
	社宅・寮等	39	48. 7	23. 1	20. 5	7. 7	0.0
	その他	6	50.0	16. 7			0.0
	不明	65	35. 4	33.8	9. 2	18. 5	3. 1

4 住みやすいと思う地域

・「人と人とがざっくばらんな関係で、人づきあいの多い地域」が 37.8%で最も多い ものの、「お互いに干渉せず、わずらわしくない地域」が 29.2%、「どちらともいえ ない」が 29.0%で、これら 3 つがほぼ拮抗している。

住みやすいと思う地域 义 4 お互いに干 わからない 1.6 渉せず、わ 2.4 ずらわしく ない地域 どちらとも 29.2 いえない 29.0 人と人とが ざっくばらん な関係で、人 づきあいの多 い地域 N=1 906 37.8

■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「4 住みやすいと思う地域」

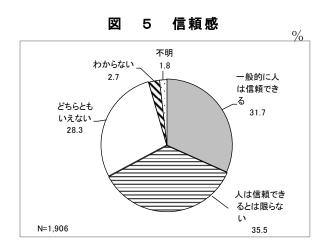
- ・75 歳以上では「お互いに干渉せず、わずらわしくない地域」、20 歳代、40 歳代、60 歳~74 歳では「人と人とがざっくばらんな関係で、人づきあいの多い地域」、30 歳代、50 歳代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- ・ひとり暮らし高齢者では、「お互いに干渉せず、わずらわしくない地域」が最も 多くなっている。
- ・居住形態別では、賃貸一戸建てのみ「どちらともいえない」、それ以外では「人 と人とがざっくばらんな関係で、人づきあいの多い地域」が最も多い。

表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方 「4 住みやすいと思う地域」

			問10-4 住み	やすいと思う地	域		
							(%)
		合計	せず、わずら わしくない地	人と人とが ざっくばらん な関係で、人		わからない	不明
		(件)	域	づきあいの多 い地域			
	全体	1906	29. 2	37.8	29. 0	2.4	1.6
F2 年齢	20歳代	145	21.4	44. 1	27. 6	6. 9	0.0
	30歳代	243	26. 3	35.8	36. 6	0.8	0.4
	40歳代	294	21. 1	41.5	34. 7	2. 4	0.3
	50歳代	308	23. 1	33.8	39. 0	2. 3	1.9
	60歳~74歳	592	34.0	38. 2	23. 6	2. 4	1.9
	75歳以上	266	42. 1	34. 2	18. 4	1. 5	3.8
	不明	58	27. 6	44.8	20. 7	1. 7	5. 2
F2高年層×F4	60歳~74歳-ひとり暮らし	55	49. 1	20.0	25. 5	3. 6	1.8
ひとり暮らし	75歳以上-ひとり暮らし	46	41. 3	26. 1	26. 1	2. 2	4.3
F3 居住形態	持家一戸建て	914	31. 1	37. 5	26. 6	2. 7	2. 1
	持家共同住宅(分譲マンション等)	563	27. 0	39. 6	31. 3	1. 1	1. 1
	賃貸一戸建て	35	31.4	25. 7	34. 3	8. 6	0.0
	賃貸共同住宅(賃貸マンション等)	284	28. 2	34. 2	33. 5	2.8	1.4
	社宅・寮等	39	28. 2	46. 2	25. 6	0.0	0.0
	その他	6	0.0	50.0	33. 3	16. 7	0.0
	不明	65	29. 2	41.5	21.5	3. 1	4. 6

5 信頼感

・最も多いのは「人は信頼できるとは限らない」の 35.5%、次いで「一般的に人は信頼できる」が 31.7%、「どちらともいえない」28.3%で、これら3つがほぼ拮抗している。



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「5 信頼感」

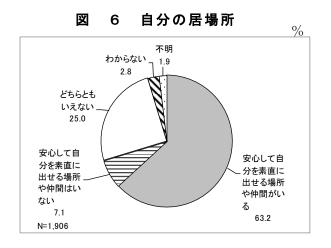
- ・50歳代、60歳~74歳では「一般的に人は信頼できる」、20歳代から40歳代までと75歳以上では「人は信頼できるとは限らない」が最も多く、特に若い世代ほど数値が高くなっている。
- ・ひとり暮らし高齢者について見ると、60 歳 \sim 74 歳では「一般的に人は信頼できる」、75 歳以上では「人は信頼できるとは限らない」が最も多くなっている。
- ・居住形態別では、持家共同住宅(分譲マンション等)は小差で「一般的に人は信頼できる」が最も多くなっているが、概ね「人は信頼できるとは限らない」が最も多い。持家では、一戸建て・共同住宅ともに「一般的に人は信頼できる」「人は信頼できるとは限らない」がほぼ拮抗している。一方、賃貸一戸建てでは「人は信頼できるとは限らない」が5割を超えている。

表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方 「5 信頼感」

			問10-5 信頼原				
		合計	一般的に人は 信頼できる	人は信頼でき るとは限らな い	どちらともい えない	わからない	(%)
		(件)					
	全体	1906	31. 7	35. 5	28. 3	2. 7	1.8
F2 年齢	20歳代	145	32. 4	44. 1	20.7	2.8	0.0
	30歳代	243	28.0	43.6	26. 7	1. 2	0.4
	40歳代	294	31.6	37. 1	27.6	3. 4	0.3
	50歳代	308	33. 1	32. 5	29. 2	2. 9	2. 3
	60歳~74歳	592	32.6	31.8	31.6	2. 4	1. 7
	75歳以上	266	32. 7	34. 6	24. 1	3.8	4. 9
	不明	58	25. 9	31.0	37. 9	1.7	3. 4
F2高年層×F4	60歳~74歳-ひとり暮らし	55	40.0	34. 5	23.6	1.8	0.0
ひとり暮らし	75歳以上-ひとり暮らし	46	30. 4	32.6	28. 3		
F3 居住形態	持家一戸建て	914	31. 8	34.8	28. 2	3. 1	2. 1
	持家共同住宅(分譲マンション等)	563	35. 0	32. 5	29.0	1.8	1.8
	賃貸一戸建て	35	37. 1	54. 3	5. 7	2. 9	0.0
	賃貸共同住宅(賃貸マンション等)	284	27. 1	41.2	28. 5	2. 1	1. 1
	社宅・寮等	39	30.8	43.6	20.5	5. 1	0.0
	その他	6	0.0				
	不明	65	23. 1	32.3	36. 9	4.6	3. 1

6 自分の居場所

・「安心して自分を素直に出せる場所や仲間がいる」が 63.2%で 6 割以上を占め、最も多くなっている。ついで「どちらともいえない」が 25.0%で全体の 4 分の 1 となっている。



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「6 自分の居場所」

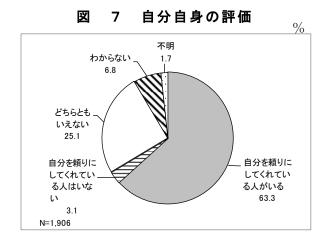
- ・いずれの世代でも「安心して自分を素直に出せる場所や仲間がいる」が最も多く、 特に若い世代ほど数値が高くなっている。
- ・いずれの居住形態でも「安心して自分を素直に出せる場所や仲間がいる」が最も 多く、特に賃貸一戸建て、社宅・寮等では7割を超える。

表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方 「6 自分の居場所」

			問10-6 自分の	の居場所			
							(%)
		合計 (件)		安心して自分 を素直に出せ る場所や仲間 はいない	どちらともい えない	わからない	不明
	全体	1906	63. 2	7. 1	25.0	2.8	1.9
F2 年齢	20歳代	145	78. 6	3. 4	15. 9	1.4	0.7
	30歳代	243	76. 5	5. 3	15. 6	2. 1	0.4
	40歳代	294	72. 1	6. 1	20.1	1.4	0.3
	50歳代	308	59. 7	7. 5	28. 9	1. 9	1.9
	60歳~74歳	592	57. 9	7.8	29. 4	2. 9	2.0
	75歳以上	266	51. 9	8. 3	28.6	6. 4	4. 9
	不明	58	48.3	15. 5	31.0	3. 4	1.7
F2高年層×F4	60歳~74歳-ひとり暮らし	55	50. 9	20.0	25. 5	1.8	1.8
ひとり暮らし	75歳以上-ひとり暮らし	46	50.0	10. 9	21.7	8. 7	8. 7
F3 居住形態	持家一戸建て	914	61. 9	5.8	26. 5	3. 5	2. 3
	持家共同住宅(分譲マンション等)	563	67. 5	6. 2	23. 3	1.4	1.6
	賃貸一戸建て	35	74. 3	8. 6	14. 3	2. 9	0.0
	賃貸共同住宅(賃貸マンション等)	284	59. 9	9. 9	26. 4	2.8	1. 1
	社宅・寮等	39	71.8	12.8	12.8	2. 6	0.0
	その他	6	50. 0	33. 3	0.0	16. 7	0.0
	不明	65	49. 2	15. 4	29. 2	3. 1	3. 1

7 自分自身の評価

・「自分を頼りにしてくれている人がいる」が 63.3%で 6割以上、次いで「どちらともいえない」が <math>25.1%で全体の 4分の1程度となっている。



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「7 自分自身の評価」

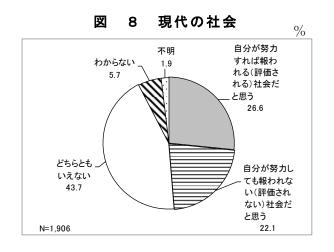
- ・いずれの世代でも「自分を頼りにしてくれている人がいる」が最も多く、75歳以上でやや数値が低いものの、年齢による大きな差は見られなかった。
- ・ひとり暮らし高齢者についてみると、60歳~74歳では「自分を頼りにしてくれている人がいる」が最も多いが、75歳以上では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- ・いずれの居住形態でも「自分を頼りにしてくれている人がいる」が最も多く、特に社宅・寮等では7割を超える。

表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方 「7 自分自身の評価」

			問10-7 自分日	自身の評価			
							(%)
		合計	してくれてい	自分を頼りに してくれてい る人はいない		わからない	不明
		(件)	· 				
	<u>全体</u>	1906	63. 3		25. 1	6.8	1. 7
F2 年齢	20歳代	145	65. 5	2.8	22. 1	9. 7	0.0
	30歳代	243	66. 7	4. 9	23. 9	4. 1	0.4
	40歳代	294	68. 4	3. 7	22.8	4.8	0.3
	50歳代	308	64. 6	2. 3	26.6	4. 5	1. 9
	60歳~74歳	592	63. 5	3.4	25.0	6. 4	1. 7
	75歳以上	266	53. 0	1.9	27.8	12. 4	4. 9
	不明	58	55. 2	0.0	29. 3	12. 1	3. 4
F2高年層×F4	60歳~74歳-ひとり暮らし	55	47. 3	10.9	32.7	7. 3	1.8
ひとり暮らし	75歳以上-ひとり暮らし	46	34.8	0.0	39. 1	15. 2	10. 9
F3 居住形態	持家一戸建て	914	65.0	2.4	23. 6	7. 1	1. 9
	持家共同住宅(分譲マンション等)	563	65. 4	2. 1	25. 0	5. 7	1.8
	賃貸一戸建て	35	48.6	8.6	34. 3	8. 6	0.0
	賃貸共同住宅(賃貸マンション等)	284	56. 3	6.3	30. 3	6. 0	1. 1
	社宅・寮等	39	74. 4	5. 1	12.8	7. 7	0.0
	その他	6	33. 3	16.7	16.7	33. 3	0.0
	不明	65	55. 4	1. 5	26. 2	12. 3	4. 6

8 現代の社会

・「どちらともいえない」が 43.7%で最も多い。次いで「自分が努力すれば報われる (評価される) 社会だと思う」が 26.6%、「自分が努力しても報われない(評価されない) 社会だと思う」が 22.1%で続く。



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「8 現代の社会」

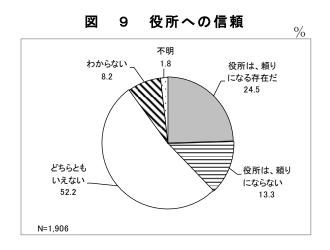
- ・20歳代のみ「自分が努力すれば報われる(評価される)社会だと思う」と「どちらともいえない」が同率で、それ以外では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- ・社宅・寮等のみ「自分が努力すれば報われる(評価される)社会だと思う」、それ以外では「どちらともいえない」が最も多くなっている。また賃貸一戸建て、賃貸共同住宅(賃貸マンション等)「自分が努力しても報われない(評価されない)社会だと思う」の数値が他に比べて高くなっている。

表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方 「8 現代の社会」

			問10-8 現代の	り社会			
							(%)
		合計 (件)	自分が努力す れば報われる (評価され る) 社会だと 思う	自分が努力し ても報われな い (評価され ない) 社会だ と思う	どちらともい えない	わからない	不明
	全体	1906	26. 6	22. 1	43.7	5. 7	1.9
F2 年齢	20歳代	145	33. 1	25. 5	33. 1	8. 3	0.0
	30歳代	243	23. 9	31. 7	40.3	3. 7	0.4
	40歳代	294	26. 2	24. 5	44. 6	4. 4	0.3
	50歳代	308	19.8	26.0	48. 7	3. 2	2. 3
	60歳~74歳	592	28. 2	18. 4	46.8	5. 1	1.5
	75歳以上	266	31.6	13. 9	38. 0	10. 2	6. 4
	不明	58	20. 7	15. 5	48. 3	13. 8	1.7
F2高年層×F4	60歳~74歳-ひとり暮らし	55	34. 5	20.0	36. 4	7. 3	1.8
ひとり暮らし	75歳以上-ひとり暮らし	46	19. 6	21.7	39. 1	13. 0	6. 5
F3 居住形態	持家一戸建て	914	28. 9	18.8	44. 2	5. 7	2. 4
	持家共同住宅(分譲マンション等)	563	26.8	21. 5	45.8	4. 1	1.8
	賃貸一戸建て	35	14. 3	34. 3	37. 1	14. 3	0.0
	賃貸共同住宅(賃貸マンション等)	284	20. 4	33. 1	39.8	5. 6	1. 1
	社宅・寮等	39	38. 5	28. 2	28. 2	5. 1	0.0
	その他	6	16. 7	16. 7	50.0	16. 7	0.0
	不明	65	20.0	15. 4	47.7	15. 4	1.5

9 役所への信頼

・最も多いのは「どちらともいえない」の 52.2%で、過半数を占める。次いで「役所 は、頼りになる存在だ」が 24.5%で、ほぼ全体の 4 分の 1 である。



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「9 役所への信頼」

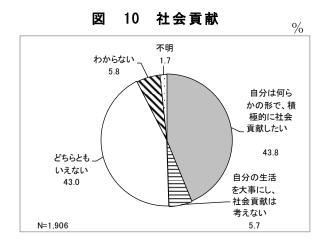
- ・75 歳以上のみ「役所は、頼りになる存在だ」、それ以外では「どちらともいえない」が最も多くなっている。「役所は、頼りにならない」の数値が最も高いのは40歳代である。
- ・ひとり暮らし高齢者においても、60 歳 \sim 74 歳では「どちらともいえない」が最も多いが、75 歳以上では「役所は、頼りになる存在だ」が最も多くなっている。
- ・居住形態別では、いずれも「どちらともいえない」が最も多く、居住形態による 顕著な差異は見られなかった。

表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方 「9 役所への信頼」

			問10-9 役所~	への信頼			
							(%)
		合計	役所は、頼り になる存在だ	役所は、頼り にならない	どちらともい えない	わからない	不明
		(件)					
	全体	1906	24. 5	13. 3	52. 2	8. 2	1.8
F2 年齢	20歳代	145	15. 9	17. 9	51.7	14. 5	0.0
	30歳代	243	15. 2	19.3	56.0	9. 1	0.4
	40歳代	294	13.6	20.4	57. 5	8. 2	0.3
	50歳代	308	18. 5	15. 9	57. 1	6. 5	1. 9
	60歳~74歳	592	30. 4	8.8	51.7	7. 3	1. 9
	75歳以上	266	42.9	6.0	38.3	7. 9	4.9
	不明	58	27. 6	6.9	53.4	10. 3	1. 7
F2高年層×F4	60歳~74歳-ひとり暮らし	55	32. 7	7.3	54. 5	3. 6	1.8
ひとり暮らし	75歳以上-ひとり暮らし	46	39. 1	8. 7	32.6	10. 9	8. 7
F3 居住形態	持家一戸建て	914	26. 5	10.9	52. 5	8. 1	2.0
	持家共同住宅(分譲マンション等)	563	21. 7	16.0	52. 2	8. 3	1.8
	賃貸一戸建て	35	31. 4	11.4	51.4	5. 7	0.0
	賃貸共同住宅(賃貸マンション等)	284	23. 6	15.8	52. 5	6. 7	1. 4
	社宅・寮等	39	17. 9	23. 1	46.2	12.8	0.0
	その他	6	16. 7	16.7	50.0	16. 7	0.0
	不明	65	26. 2	7. 7	50.8	13. 8	1. 5

10 社会貢献

•「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」が 43.8%、「どちらともいえない」 が 43.0%でほぼ並ぶ。



■ 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方「10 社会貢献」

- ・20 歳代から 40 歳代までは「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」、50 歳代より上の世代では「どちらともいえない」が最も多く、50 歳代を境に傾向が分かれた。
- ・持家共同住宅(分譲マンション等)、賃貸一戸建て、社宅・寮等では「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」、持家一戸建て、賃貸共同住宅(賃貸マンション等)では「どちらともいえない」が最も多くなっている。

表 年齢・居住形態別 最近の社会や人とのつきあい方 「10 社会貢献」

			問10-10 社会	貢献			
							(%)
		合計 (件)		自分の生活を 大事にし、社 会貢献は考え ない		わからない	不明
	全体	1906	43. 8	5. 7	43.0	5. 8	1. 7
F2 年齢	20歳代	145	49.7	7. 6	32.4	10. 3	0.0
	30歳代	243	49.0	8. 6	39. 5	2. 5	0.4
	40歳代	294	48.6	2.0	44.2	4.8	0.3
	50歳代	308	40. 9	5. 8	45.8	5. 5	1. 9
	60歳~74歳	592	42. 9	5. 6	45. 6	4. 4	1. 5
	75歳以上	266	38. 0	4. 9	41.7	9.8	5. 6
	不明	58	34. 5	10.3	41.4	12. 1	1. 7
F2高年層×F4	60歳~74歳-ひとり暮らし	55	36. 4	7. 3	47.3	9. 1	0.0
ひとり暮らし	75歳以上-ひとり暮らし	46	23. 9	10. 9	47.8	10. 9	6. 5
F3 居住形態	持家一戸建て	914	42.8	4. 3	44. 6	6. 2	2. 1
	持家共同住宅(分譲マンション等)	563	48. 5	6. 2	40.3	3. 2	1.8
	賃貸一戸建て	35	40.0	14. 3	37. 1	8. 6	0.0
	賃貸共同住宅 (賃貸マンション等)	284	40.8	7. 0	44.0	7. 0	1. 1
	社宅・寮等	39	46. 2	7. 7	35. 9	10. 3	0.0
	その他	6	16. 7	0.0	50.0	33. 3	0.0
	不明	65	33.8	9. 2	44.6	10.8	1. 5

参考 「暮らしやすさ調査」「平成 23 年度横浜市民意識調査」との比較

「暮らしやすさ調査」と今回調査を、調査項目の合致する9項目について比較する。 また、「平成23年度横浜市民意識調査」についても、合致する4項目を比較する。

- ・「人とのつきあい方」「知人が困っているとき」「自分の居場所」「自分自身の評価」 「現代の社会」の5項目については、概ね同様の傾向となっている。
- ・「住みやすいと思う地域」については、今回調査と暮らしやすさ調査では「人と人と がざっくばらんな関係で、人づきあいの多い地域」が最も多いが、横浜市調査では 「どちらともいえない」が最も多いほか、「お互いに干渉せず、わずらわしくない 地域」の数値が今回調査より8ポイント低くなっている。
- ・「信頼感」については、暮らしやすさ調査・今回調査では「人は信頼できるとは限らない」が最も多いが、横浜市調査では「一般的に人は信頼できる」が最も多くなっている。
- ・「役所への信頼」では、今回調査・暮らしやすさ調査とも「どちらともいえない」が 最も多くなっているが、「役所は頼りになる存在だ」については、今回調査は 24.5%、 暮らしやすさ調査では 17.6%と、今回調査が 6.9 ポイント高く、「役所は、頼りに ならない」については今回調査が 5.5 ポイント低くなっている。
- ・「社会貢献」では、今回調査は「自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい」が 最も多く 43.8%であるのに対し、暮らしやすさ調査と横浜市調査では「どちらとも いえない」がそれぞれ 47.5%、43.7%で最も多くなっている。

表 「暮らしやすさ調査」「平成23年度横浜市民意識調査」との比較

(9/)

		ム同細木	暮らしやすさ 調査	(%)
	·		※り二.	H23 (典 祆 印 嗣)
	気のあった人とだけつき合えばよい	21.0		
	いろいろな価値観や世代の人とつき合いたい	51.7		
人とのつきあい方	どちらともいえない	23. 2	24. 4	
	わからない	2.5	3.6	
	不明	21. 0 23. 8 51. 7 47. 3		
	困ったときはお互いさまの意識で、自分が可能な範囲で手助けする	79. 1	79. 9	82. 1
in L が困っている	困ったときでも、できるだけ本人や家族等で解決すべきだ	9.0	7.2	4. 5
	どちらともいえない	9. 1		9.4
C 6	わからない	1.4	2.4	3.0
	不明	1.4	0.8	1. 1
	家族や親族に頼む	40.5		
タンナイトリテロロー・ティ、	専門家や公的な相談機関に相談する	31.6		
	他の人に相談したくない	11.8		
9 C G	わからない	13. 5		
	不明	2.6		
	お互いに干渉せず、わずらわしくない地域	29. 2	25.0	21. 2
A-7. dolen . 1. III 5	トレトレがギッノばたたか関係で よべきないの多い地域	37.8	39. 1	36. 3
	どちらともいえない	29. 0	31.5	37. 5
地坝	わからない	2.4	3. 4	4. 2
	不明	1.6	1.0	0.8
	一般的に人は信頼できる			32. 7
	人は信頼できるとは限らない	35. 5	35. 7	29. 5
信頼感	どちらともいえない			32. 2
信頼感	わからない			4.7
	不明	51.7 23.2 2.5 1.6 9.0 9.1 1.4 1.4 1.4 1.4 40.5 31.6 11.8 13.5 2.6 29.2 37.8 29.0 2.4 1.6 31.7 35.5 28.3 2.7 1.8 63.2 7.1 1.8 63.2 7.1 1.8 63.2 7.1 1.8 63.3 2.7 1.8 63.2 7.1 1.8 63.2 7.1 1.8 63.3 3.1 2.6 63.3 3.7 1.8 63.2 7.1 1.8 63.2 7.1 1.8 63.3 3.1 2.6 63.3 3.7 1.8 63.2 7.1 1.8 63.2 7.1 1.8 63.2 7.1 1.8 63.3 3.1 2.5 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.7 1.8 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.7 1.8 6.8 1.7 1.8 6.8 1.9 6.8 1.9 6.8 1.7 1.8 6.8 1.7 1.8 6.8 1.7 1.8 6.8 1.7 1.8 6.8 1.7 1.8 6.8 1.9 6.8 1.7 1.8 6.8 1.7 1.8 6.8 1.7 1.8 6.8 1.7 1.8 6.8 1.7 1.8 1.8 6.8 1.7 1.8 1.8 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9 1.9		0. 9
	安心して自分を素直に出せる場所や仲間がいる			
	安心して自分を素直に出せる場所や仲間はいない			1
自分の居場所	どちらともいえない			1
	わからない			i
言頼感 自分の居場所	不明			i
	自分を頼りにしてくれている人がいる			
	自分を頼りにしてくれている人はいない			1
自分自身の評価	どちらともいえない			1
177 11 71 · FI IIII	わからない			i
知人が困っている とき 経済的に困ってい るとき 主みやすいと思う 也城	不明			1
	自分が努力すれば報われる(評価される)社会だと思う			
	自分が努力しても報われない(評価されない)社会だと思う			1
担代の社会	どちらともいえない			
-)LI (*) ILA	わからない			1
	不明			
	役所は、頼りになる存在だ			
	役所は、頼りになる行任だ			ł
役所への信頼	どちらともいえない			
(A//) *V/104K	わからない			1
	不明			ł
	1.24			43.0
	自分は何らかの形で、積極的に社会貢献したい			43.0
公子 科	自分の生活を大事にし、社会貢献は考えない			
工工具版	どちらともいえない			43. 7
	わからない			6. 9
	不明	1.7	0.6	1.5

※「暮らしやすさ調査」(問13)、平成23年度横浜市民意識調査(6.価値観)から作成